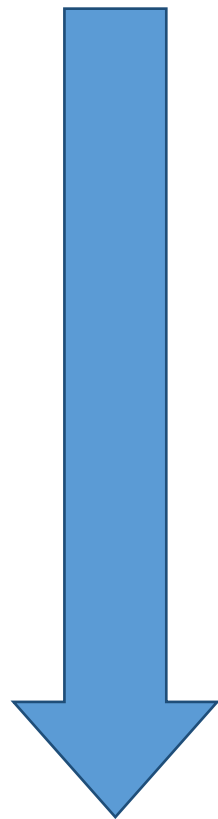


■「中央公園広場」が建設候補地になった理由

- ◎ 平成26年12月に、サッカースタジアム検討協議会において、「旧市民球場跡地」と「広島みなと公園」の2カ所を候補地とする提言がとりまとめられ、この2カ所について比較検討を行ってきましたが、それぞれ簡単に解決できない課題があり、候補地を絞り込むことが難しくなりました。



各候補地の課題

<広島みなと公園の課題>

- ◎ 観客を運ぶ公共交通機関の能力が充分でなく、自動車での来場が多くなるため、宇品地区を中心とした物流への影響を抑える必要がある。 など

<旧広島市民球場跡地の課題>

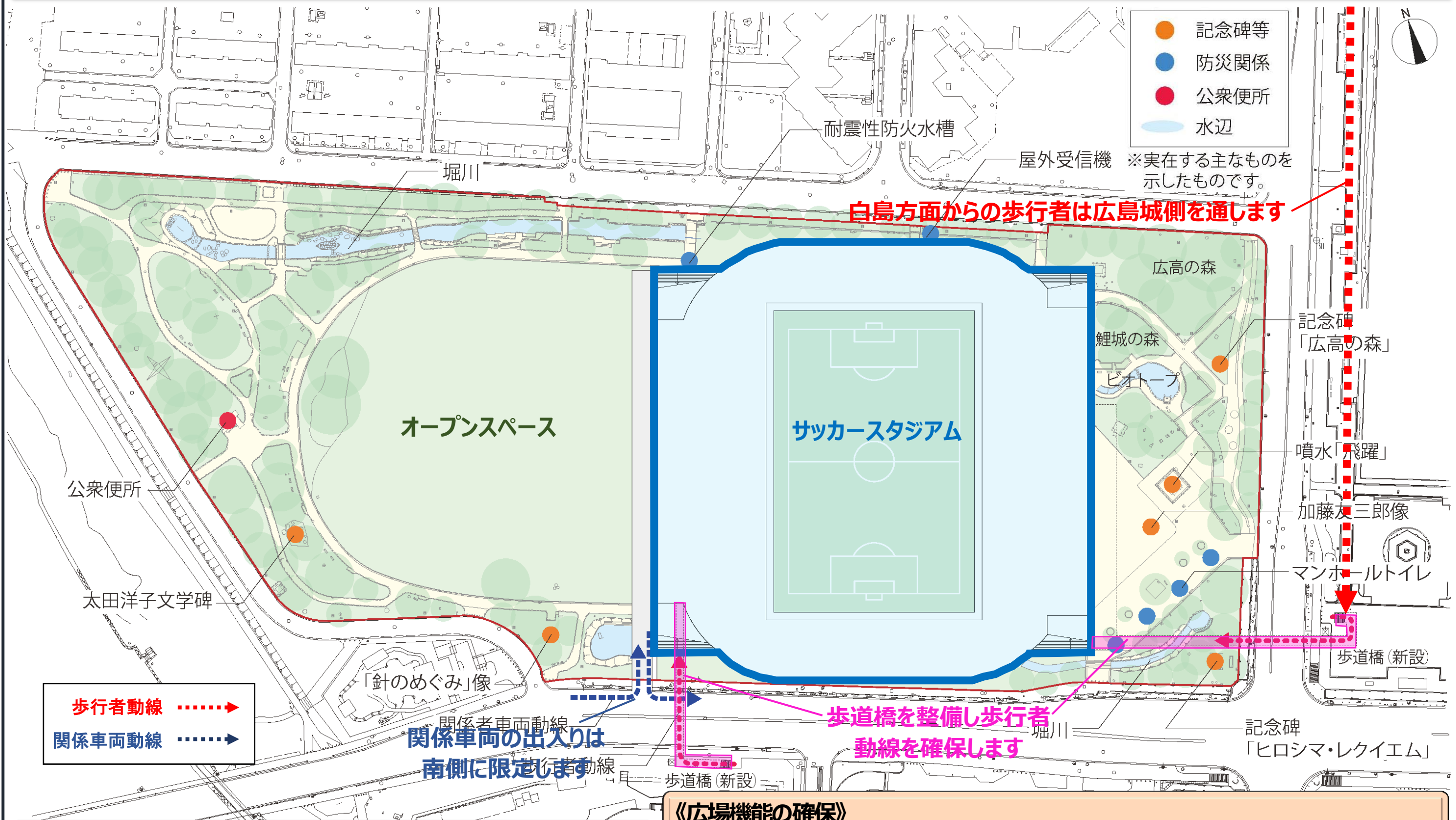
- ◎ 景観保護のための高さ制限を守るため建設費が割高になる。
- ◎ 敷地が狭く観客の溜まる空間が確保できない。 など

<参考：エディオンスタジアムの課題>

- ◎ 観客席全面への屋根掛けなどのJリーグ施設基準を満たしておらず、新設と同程度の改修費が必要
- ◎ アストラムラインの延伸を考慮しても短時間で観客を運ぶことが難しい状況は変わらない など

- ◎ そこで、県・市・商工会議所にサンフレッチェ広島を含めた4者で話し合いを行った結果、市営住宅に近接し、生活環境への配慮に課題があるものの、検討協議会で「旧市民球場跡地」、「広島みなと公園」と同等の高い評価を受け、最終段階まで候補地とされていた「中央公園広場」を加えた3カ所で改めて検討し、最終的な判断をすることとしました。
- ◎ 今後、この3カ所について、県・市・商工会議所でさらに検討し、建設候補地の絞り込みを行いたいと考えています。

仮に中央公園広場にサッカースタジアムを整備する場合の生活環境等を確保するための対応策 ①



《防災機能の確保》

- 耐震性防火水槽は維持します。
- スタジアムに備蓄倉庫等を整備します。
- 広場内及び県営基町住宅跡地に避難スペースを確保します。
- スタジアムの諸室を避難スペースなどに活用します。

《広場機能の確保》

- スタジアムを広場の東寄りに配置し、できるだけ記念碑等の既存施設に影響がないようにします。(必要に応じて広場内での移転を検討します。)
- 広場内及び県営基町住宅跡地に利用可能なオープンスペースを確保します。
- スタンド下の空き空間の活用や、広場の魅力の向上のための整備などについて、住民の皆様の見解も聞きながら検討します。

■仮に中央公園広場にサッカースタジアムを整備する場合の生活環境等を確保するための対応策 ②

騒音対策の事例



吹田

観客席全面を屋根で覆う



神戸

防音性の高い扉やサッシなどを採用

地元居住環境への影響に配慮した対策の事例



神戸

住宅地への観客の進入の抑制



大宮

スタッフによる観客の誘導



磐田

スタジアム外でのゴミの回収

渋滞や違法駐車対策の事例



大宮

警備員による自動車の誘導



神戸

警備員を配置し、路肩での停車を防止

★ 自動車での来場を抑制するため、スタジアムに観客用の駐車場は作りません。

《参考》

来場手段等に係るアンケート調査結果

中央公園広場にサッカースタジアムが整備された場合における交通面での影響等を検討するため、来場予定者が、どのような交通手段やルートを想定しているのかなどをアンケートにより調査し、次のようなことがわかりました。

- 公共交通利用者が多く（約74%）、自動車利用は少ない（約15%）。
- 試合前に買物等をするために早めに来場する観客が多いため、自動車交通量が増加する時間帯が分散する。
- 試合前に買物等をするために、いったん紙屋町近辺に来て、直前に南方面からスタジアムに来場する人が多い（約7割）。